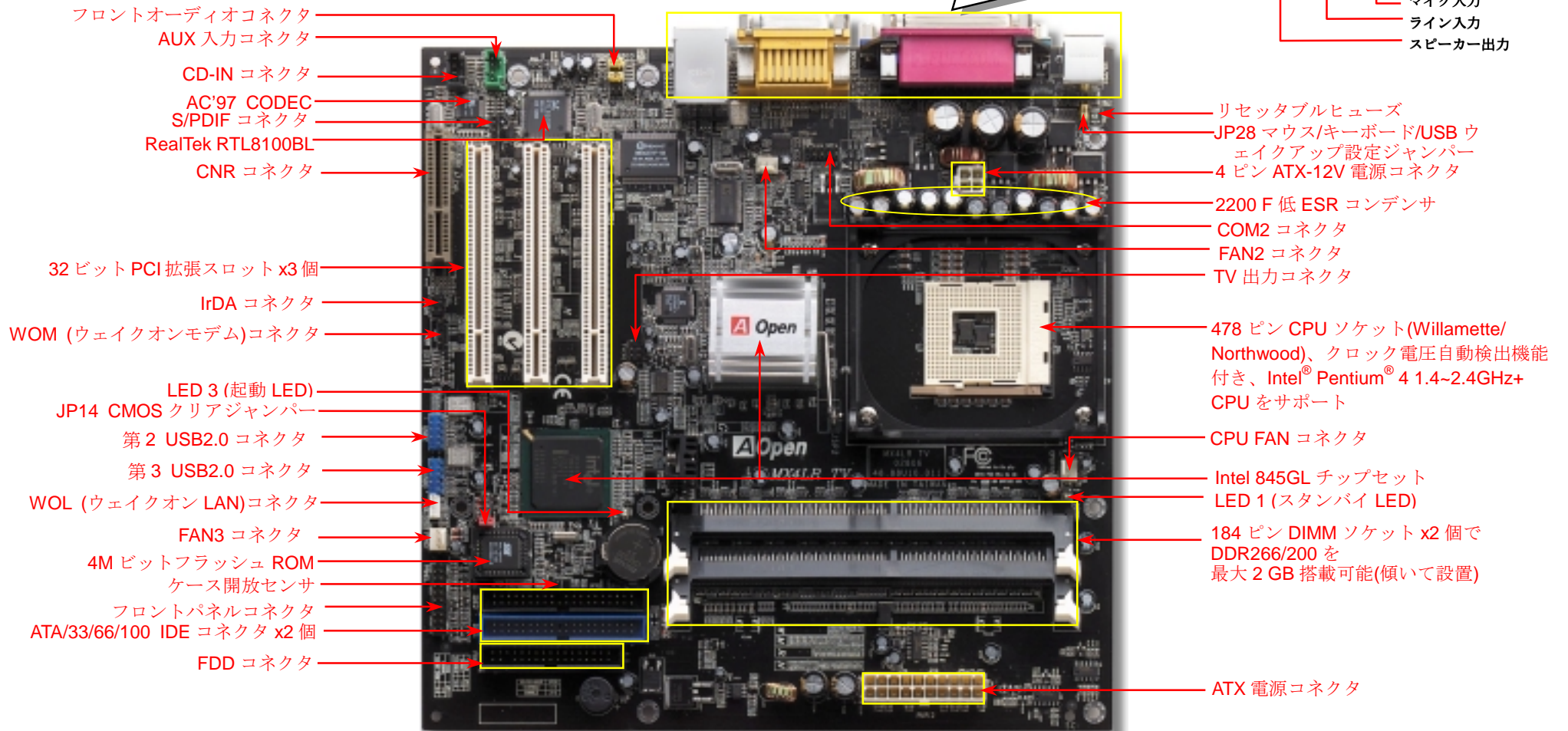
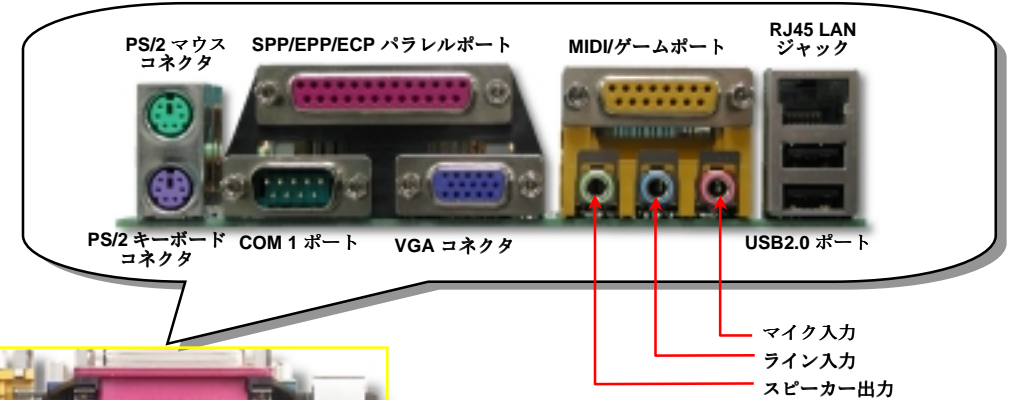


## MX4LR TV



(予告無く仕様変更される場合があります。あらかじめご了承ください。)

# インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーージーインストールガイドに載せられています。更に詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルが Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球の環境保護へのご協力に感謝いたします。

# 付属品チェックリスト

- ✓ マザーボード x1 枚
- ✓ 当イーージーインストールガイド x 1 式
- ✓ 80 芯線 IDE ケーブル x1 本
- ✓ フロッピーディスクドライブケーブル x1 本
- ✓ Bonus Pack CD x1 枚
- ✓ ビデオポートブラケット x1 個



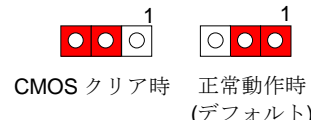
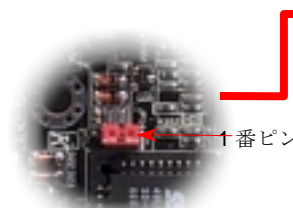
PART NO: 49.88U10.E01

DOC. NO: MX4LRTV-EG-J0206A

## 1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。

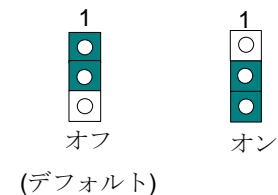
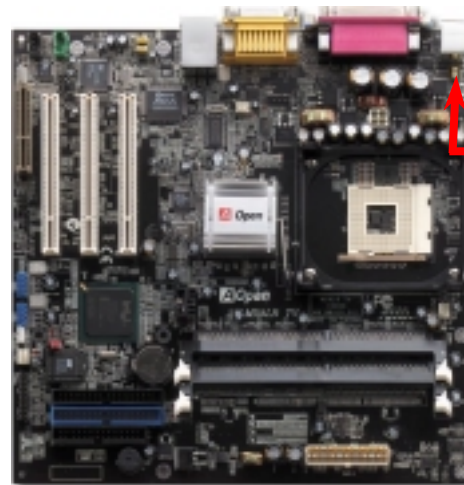


ヒント : CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

## 2. JP28 キーボード/マウス/USB ウェイクアップ設定ジャンパー

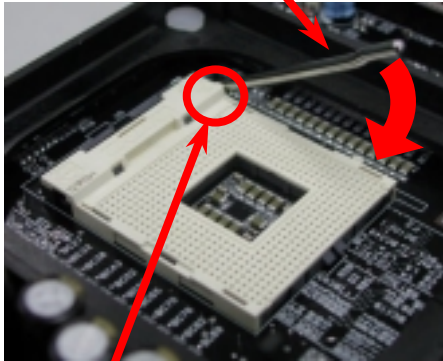
このマザーボードにはキーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームするキーボード/マウス/USB ウェイクアップ機能が備わっています。この機能のオン・オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は“オフ”(1-2)ですが、ジャンパー位置を 2-3 にすることでこの機能がオンになります。



### 3. プロセッサのインストール

このソケットは Intel が新開発した FC-PGA2 パッケージ CPU 対応です。その他形式の CPU パッケージは装着できません。

CPU ソケットレバー



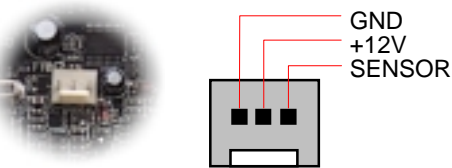
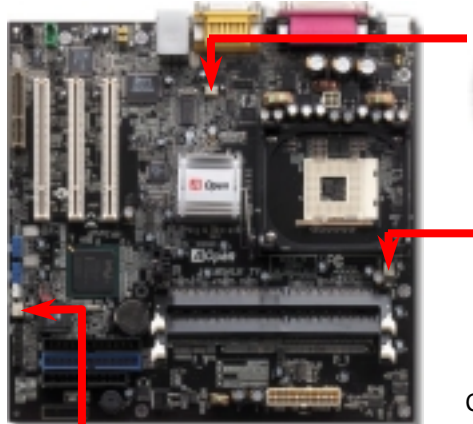
CPU 1 番ピンおよび面取り部

1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置および CPU 上部の (金色の) 面取り部を確かめます。1 番ピンおよび面取り部を合わせます。この方向で CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻すと、CPU のインストールは完了です。

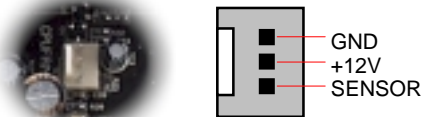
**ご注意:** CPUソケットの1番ピンとCPUの面取り部を合わせないと、CPUに損傷を与えます。

### 4. CPU およびシステムファンのインストール

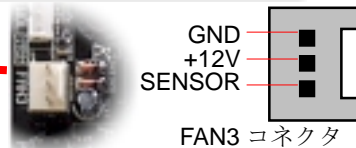
CPU ファンのケーブルは 3-ピンの CPU FAN コネクタに差します。ケースファンを使用される場合は、ケーブルをシステムファン(FAN2) または FAN3 (AUX ファン)コネクタに接続します。



FAN2 コネクタ



CPU ファンコネクタ



FAN3 コネクタ

**メモ:** CPU ファンによってはセンサ用ピンがないものもあります。この場合、ファンのモニタ機能は使用できません。

### 5. CPU 電圧およびクロックの設定

#### CPU コア電圧の設定

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は 1.10V ~1.85V の範囲で自動検出されます。

#### CPU クロックの設定

このマザーボードは CPU ジャンパー不要設計なので、CPU クロックは BIOS セットアップから設定可能で、ジャンパースイッチ類は不要です。デフォルト設定は"table select mode (対応表から選択)"です。オーバークロック目的で FSB は"CPU Host/SDRAM/PCI Clock"から設定可能です。

#### BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

CPU レシオ	10x... 21x, 22x, 23x, 24x
CPU FSB (BIOS対応表による)	100~200.4MHz

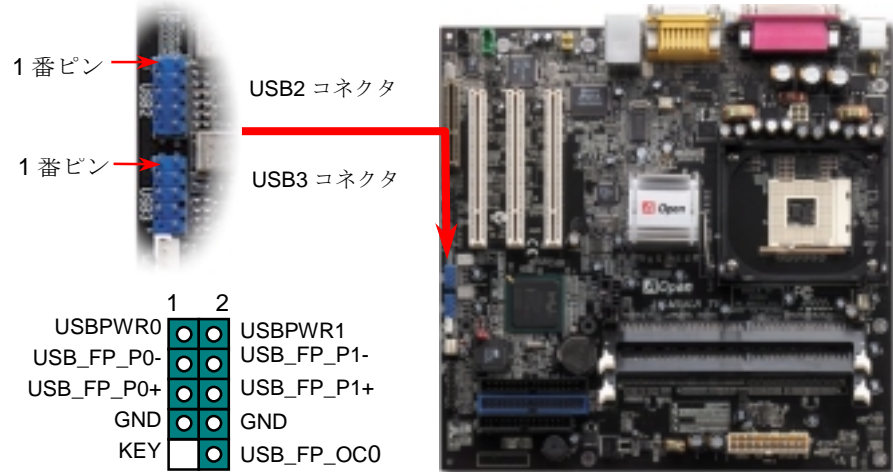
Northwood CPU	CPUコア クロック	FSBクロック	システムバス	レシオ
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x
Willamette CPU	CPUコア クロック	FSBクロック	システムバス	レシオ
Pentium 4 1.5G	1500MHz	100MHz	400MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1900MHz	100MHz	400MHz	19x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x

**警告:** Intel® 845 GL チップセットは最大 400MHz (100MHz\*4) システムバスおよび 66MHz AGP クロックをサポートしています。より高速のクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

**メモ:** 最新のプロセッサである Northwood はクロックレシオを自動検出するので、BIOS からのマニュアル設定はできません。

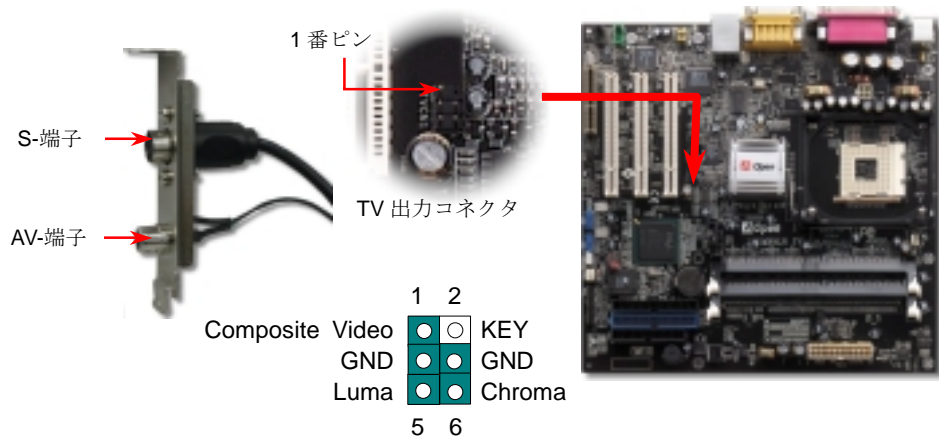
## 6. USB2.0 コネクタ 6 個をサポート

このマザーボードには6個のUSBコネクタが装備されており、マウスキーボード、モデムプリンタなどのUSB装置が接続できます。PC99後部パネルには2個のコネクタがあります。適切なケーブルを使って後部パネルおよびフロントパネルのUSBコネクタに接続してください。



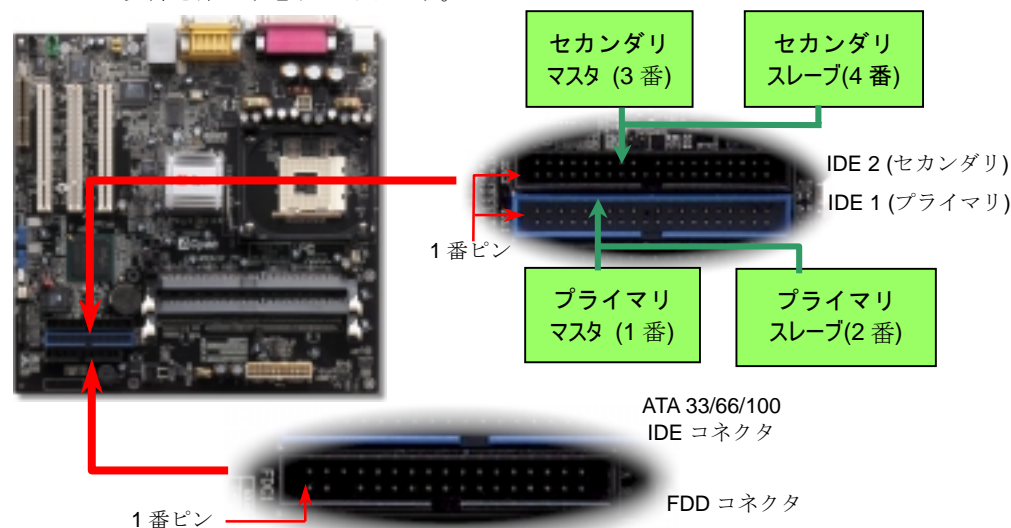
## 7. TV 出力コネクタ

当マザーボードにはCH7009コントローラチップセットが装備されており、デジタルグラフィック入力信号をエンコードし、DVI または TV 出力としてデータ転送が可能です。この機能では NTSC と PAL 双方のビデオ形式がサポートされています。後部パネルにビデオポートブラケット (図示)を取り付け、S-端子または AV-端子からお持ちのテレビに接続すれば、もう 1 台のモニターとして使用できます。



## 8. IDE およびフロッピーケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン 80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDC および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えるとシステムに支障を来す恐れがあります。



## 9. フロントパネルケーブルの接続

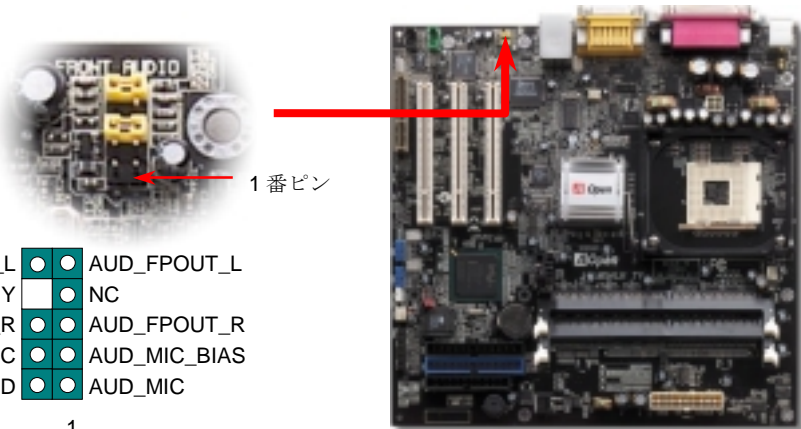


電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差します。BIOS セットアップで“Suspend Mode” の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。

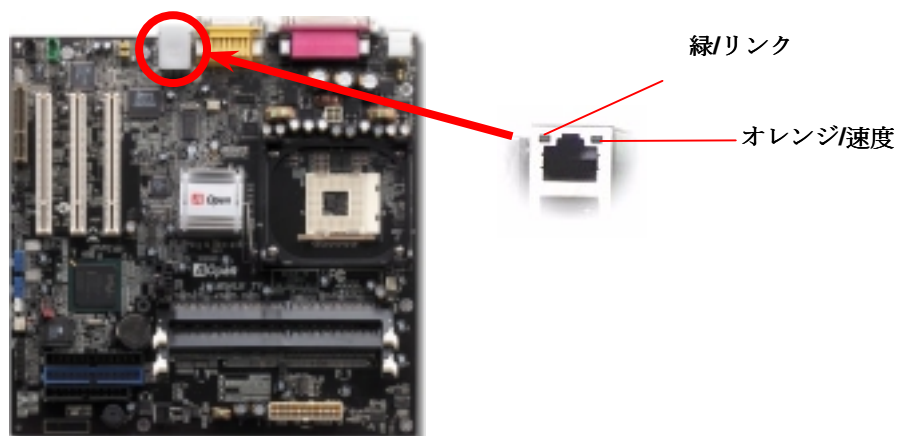
## 10. フロントオーディオコネクタ

筐体のフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。ケーブルを接続する際には、フロントパネルオーディオコネクタから5-6番および9-10番のジャンパーキャップを外してください。筐体のフロントパネルにオーディオポートがない場合は5-6番および9-10番の黄色いジャンパーキャップを外さないでください。



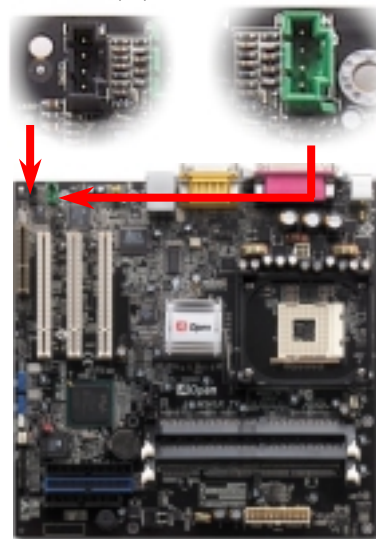
## 11. オンボードで 10/100 Mbps LAN をサポート

高度統合化プラットフォーム LAN 接続デバイスであるオンボードの Realtek RTL8100 LAN コントローラにより、オフィスや自宅での 10/100M bps イーサネットがサポートされています。イーサネット用 RJ45 コネクタは USB コネクタ上部に位置します。緑の LED はリンクモード表示で、ネットワークにリンクしているときに点灯します。オレンジの LED はデータ転送モード表示で、100Mbps モードで点灯します。この機能のオン・オフは BIOS 経由で行います。



## 12. CD-IN /AUX-IN コネクタの接続

CD-IN (黒)    AUX-IN (緑)



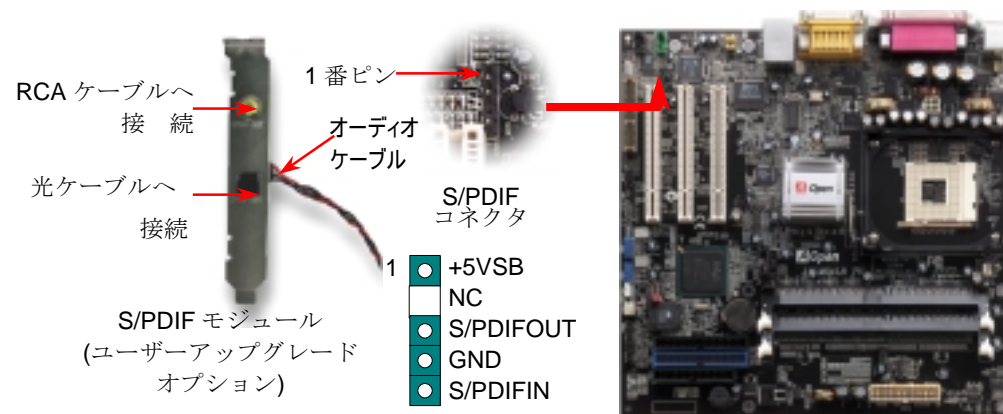
**AUX-IN** コネクタは MPEG カードからの MPEG オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

**CD-IN** コネクタは CDROM または DVD ドライブからの CD オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

コネクタ	1 番ピン	2 番ピン	3 番ピン	4 番ピン
AUX-IN	左	GND	GND	右
CD-IN	左	GND	GND	右

## 13. S/PDIF(Sony/Philips デジタル インタフェース)コネクタ

S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。図示されているように通常 S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。専用オーディオケーブルにより、SPDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの SPDIF 出力を SPDIF デジタル入力対応スピーカーに接続する必要があります。



## 14. 電源オンおよびBIOS セットアップのロード

Del

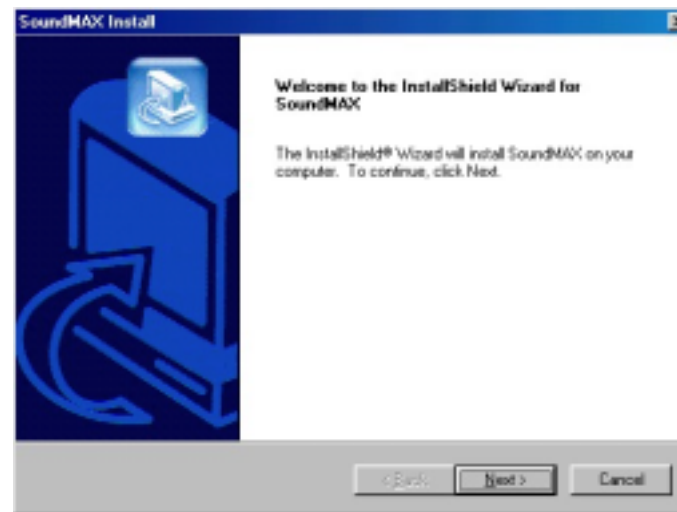
ジャンパー設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中に <Del>キーを押します。"Load Setup Defaults"を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等)がターボ設定の必要条件を満たしていることが明らかでない場合は"Load Turbo Defaults"を選ばないでください。

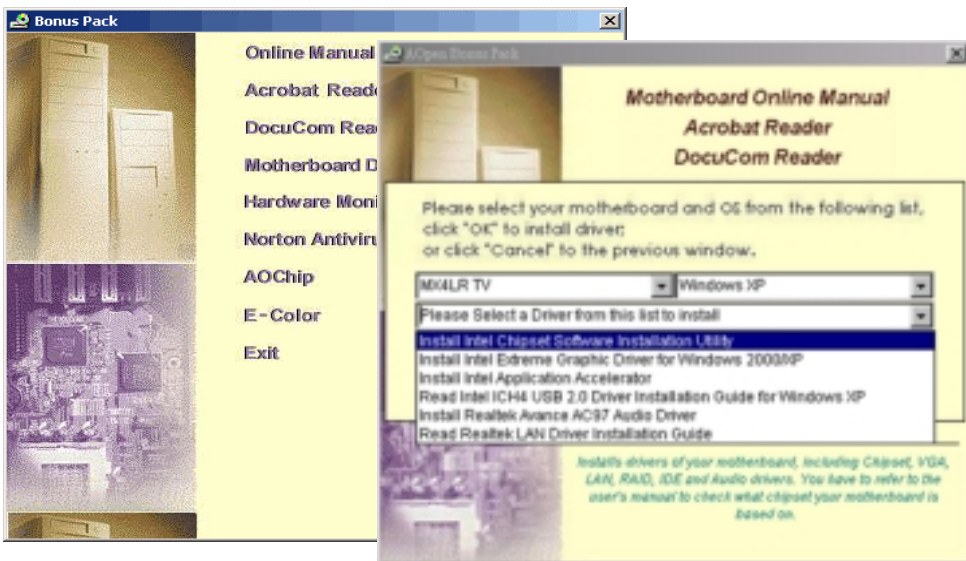
## 16. オンボードサウンドドライバのインストール

当マザーボードには AC97 CODEC が採用されています。オーディオドライバは Bonus Pack CD オートランメニューから見出せます。



## 15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートランによるメニューが使用できます。必要なユーティリティを選び、ドライバ、型式名を指定します。



## 17. Windows 環境での BIOS のアップグレード

BIOS のアップグレードは EZWinFlash を利用して以下のステップで行います。アップグレードを始める前に他のアプリケーションは全て終了させるよう強くお勧めします。

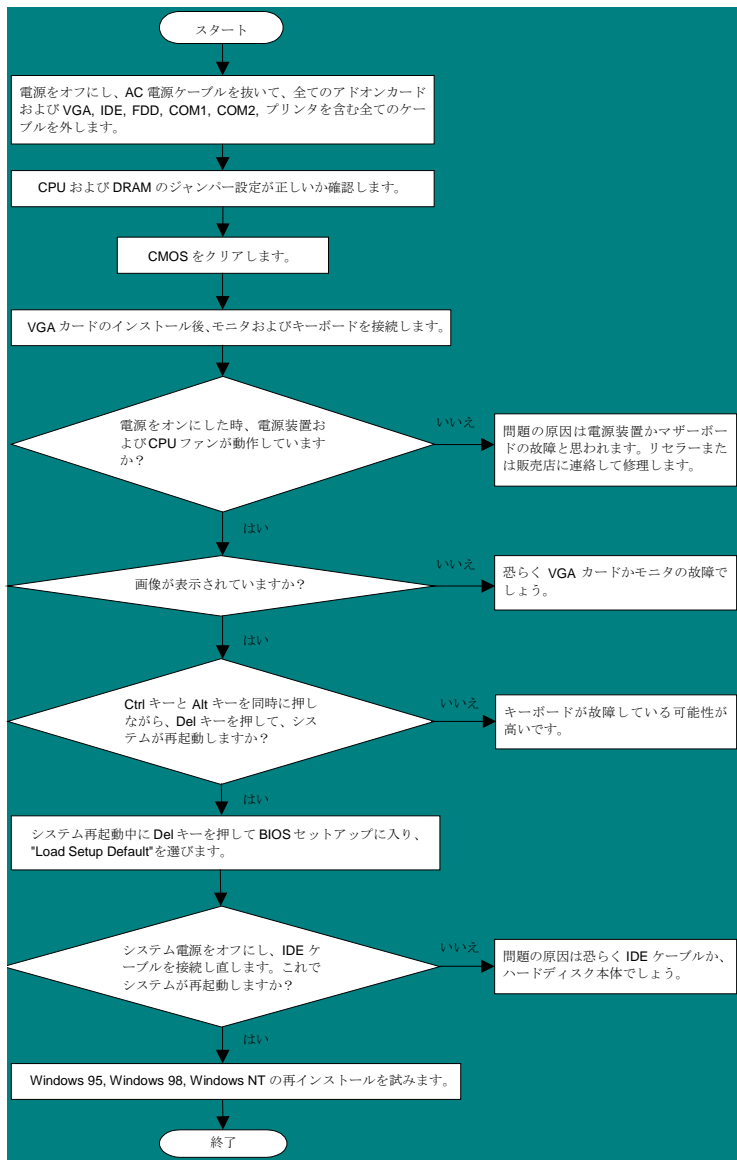
1. AOpen の公式ウェブサイト(例: <http://www.aopen.co.jp/>) から最新の BIOS アップグレード zip ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードされた BIOS パッケージ(例: WMX4LRTV102.ZIP) を Windows 環境では WinZip (<http://www.winzip.com>) で解凍します。
3. 解凍された WMX4LR102.EXE および WMX4LRTV102.BIN などのファイルをフォルダに保存します。
4. WMX4LRTV102.EXE をダブルクリックすると、EzWinFlash はマザーボードのモデル名および BIOS バージョンを自動検知します。BIOS が一致しない場合はフラッシュ操作には進めません。
5. メインメニューから使用言語を指定し、[フラッシュ開始]をクリックすると BIOS アップグレードが始まります。
6. EzWinFlash が残りのプロセスを自動処理したあと、ダイアログボックスが表示され、Windows を再起動するか聞いてきます。[再起動する]をクリックすると、Windows が再起動されます。
7. システムを再起動し、<Del>キーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup (保存して終了)"して完了です。

警告: フラッシュ時には以前の BIOS 内容は完全に置き換えられます。BIOS の設定および Win95/Win98 のプラファインドブレイ情報はクリアされるので、システムの再設定が必要となります。



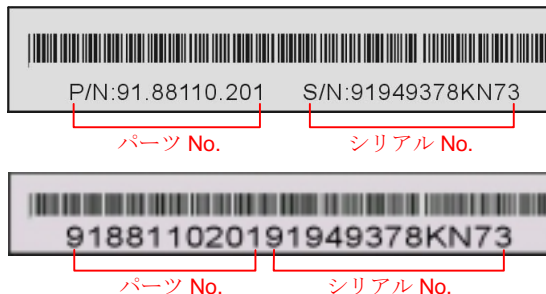
# トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた際は、以下の手順で問題を解決します。



## パーツ番号およびシリアル番号

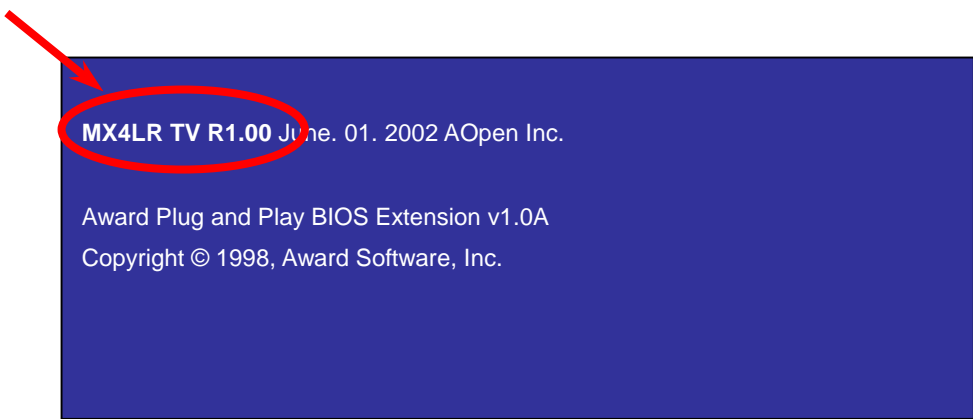
パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。ラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下が一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 がシリアル番号です。

## 型式名およびBIOSバージョン

型式名および BIOS バージョンは最初の起動画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



MX4LR TVがマザーボードの型式名で、R1.00がBIOSバージョンです。



# テクニカル サポート

お客様各位、

この度は AOpen 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら毎日いただく E メールおよび電話のお問合せが世界中から無数にあり、全ての方にタイムリーなサポートをご提供いたすのは困難を極めております。弊社にご連絡になる前に下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供させていただけます。皆様のご理解に深く感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム一同

1

**オンラインマニュアル:** マニュアルをよくご覧になり、ジャンパー設定およびインストールの手順が正しいことをご確認ください。  
<http://english.aopen.com.tw/tech/download/manual/default.htm>

2

**テストレポート:** PC 組立てには、互換性テストレポートから board/card/device の部分をご覧ください。  
<http://english.aopen.com.tw/tech/report/default.htm>

3

**FAQ:** 最新の FAQ (よく尋ねられる質問)からトラブルの解決法が見つかるかもしれません。  
<http://english.aopen.com.tw/tech/faq/default.htm>

4

**ソフトウェアのダウンロード:** 下表からアップデートされた最新の BIOS またはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。  
<http://english.aopen.com.tw/tech/download/default.htm>

5

**ニュースグループ:** コンピュータエキスパートからの投稿が掲載されています。ここでの討論へのみなさんの参加を歓迎いたします。  
<http://english.aopen.com.tw/tech/newsgrp/default.htm>

6

**販売店、リセラーへのご連絡:** 弊社は当社製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定およびそのトラブルに対して先方が弊社より明るい可能性があります。また先方のユーザーへの対応の仕方が、次回に別の製品をお求めになる際の参考ともなるでしょう。

7

**弊社へのご連絡:** ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOS バージョンも大変参考になります。

太平洋地域  
AOpen Inc.  
Tel: 886-2-3789-5888  
Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ  
AOpen Computer b.v.  
Tel: 31-73-645-9516  
Fax: 31-73-645-9604

中国  
艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司  
Tel: 86-21-6225-8622  
Fax: 86-21-6225-7926

ドイツ  
AOpen Computer GmbH.  
Tel: 49-1805-559191  
Fax: 49-2102-157799

米国  
AOpen America Inc.  
Tel: 1-510-489-8928  
Fax: 1-510-489-1998

日本  
AOpen Japan Inc.  
Tel: 81-048-290-1800  
Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: [www.aopen.com](http://www.aopen.com)

E メール : 下記のご連絡フォームをご利用になりメールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/contact/techjp.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/contact/techtw.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/contact/techde.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/contact/techcn.htm>